

令和３年度 調布市立第五中学校「学校いじめ防止対策基本方針」

〇いじめ防止対策に関する法令等

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・いじめ防止対策推進法
- ・東京都いじめ防止対策推進条例
- ・東京都いじめ防止対策推進基本方針
- ・東京都教育委員会いじめ総合対策
- ・調布市子ども条例
- ・調布市教育委員会教育目標及び基本方針
- ・調布市教育委員会「いじめ防止対策委員会」設置実施要項等
- ・調布市いじめ撲滅の手引き

目指す児童・生徒像

- ①思いやりと助け合う心をもとう（協力心・責任感・奉仕の精神）
- ②自ら学ぶ人になろう（積極性・自主性・自律性）
- ③心と体を鍛えよう（強い意志・忍耐力・強健な体力）

〇目標策定の方針

生徒の実態

- ・明るく素直な生徒が多い。
- ・行事等は男女協力して仲良く活動する。

保護者・地域・学校評議員や学校関係者委員会からの意見等

- ・健康で安全な生活と、確かな学力を身につけて欲しい。

いじめ防止等に関する学校の目標

- ・全ての生徒が自分の能力や個性を安心して発揮し、安心して諸活動に取り組むことができる。
- ・いじめ防止対策委員会を設置し、いじめの未然防止はもとより、早期発見、早期解決を図る。
- ・「するを許さず・されるを責めず・いじめに第三者なし」の心を育む。

いじめの未然防止・早期発見のために

〇教職員の研修

- ・体罰の否定・教育相談的援助
- ・授業改善・いじめに関する研修
- ・人権教育プログラム、いじめ撲滅の手引き、人権教育ニュース、人権教育指導啓発資料の活用
- ・携帯電話取り扱いに関する研修
- ・教育コーディネータ室との連携に関する研修

〇生徒のアンケートおよび聞き取りの実施

- ・ふれあい月間を活用しアンケートを実施して、子ども１人１人の状況を把握する視点を重視する。
- ・スクールカウンセラーによる全員面接（中１）

〇自己肯定感の獲得

- ・スクールサポーターによる個別学習支援推進
- ・長期休業中の学習教室
- ・定期考査前の質問教室

いじめ防止対策委員会（校長、副校長、養護教諭、生徒指導主任、各学年生徒指導部教諭、SC、担任）

- ・いじめ防止等の対策のための「組織」  
いじめ相談窓口、いじめ防止対策委員会、特別支援教育校内委員会、生活指導部会、学年会等
- ・「いじめ相談窓口」の開設について、生徒・保護者・地域への周知方法  
保護者会、学年・学級だより、学校ホームページ、掲示物 等
- ・校長のリーダーシップの下、いじめ問題に組織的に対応するためのシステムの構築を図る。
- ・管理職、主幹教諭、生徒指導主任、養護教諭、学級担任等の立場から働きかける指導内容  
いじめ問題への深い認識と広い知識、心理的事実を見抜く洞察力、健やかな感性、相手の立場に立った共感的理解、人間関係の把握、「かけがえのない存在」という思い等
- ・生徒会の取組等  
いじめ防止標語募集(生徒手帳にいじめ防止スローガン、各学年のサブスローガンの記載)
- ・インターネットを通しておこなわれるいじめに対する対策について  
保護者への注意喚起と早期情報提供、セーフティ教室・携帯電話教室において外部機関を活用した情報モラル教育の推進

【いじめの早期発見】

- ・いじめ防止についてアンケートを実施（月１回） 担任との連絡帳のやり取り（週１程度）
- ・いじめ防止対策委員会（校長、副校長、養護教諭、生活指導主任、各学年生活指導部教諭、スクールカウンセラー）の設置
- ・学校いじめ相談窓口の周知と活用
- ・スクールカウンセラーによる全員面接（中１）
- ・特別支援教育校内委員会での毎週の全校情報交換

〇スクールカウンセラーとの連携

- ・特別支援教育校内委員会を設置し、連携を強化。
- ・担任とともに状況を把握、共有し、指導状況を確認。

〇保護者・地域との連携

- ・保護者会の工夫
- ・三者面談の充実
- ・学年・学校便り等の配付
- ・PTA 委員会との連携
- ・保護者との合同行事（合同パトロール・美化）
- ・学校支援地域本部設置
- ・民生児童委員との連携

具体的ないじめへの対応（早期発見、重大事態への対応）

生活指導主任会報告内容の場合（学校が「学校いじめ対策委員会」等で組織的に話し合い、対応する場合）

①実態把握の観点	②指導・支援の基本姿勢	③＜被害生徒の支援＞
・被害の様態	・いじめ相談窓口（校長、副校長、養護教諭、主任教諭）の設置	・保護
・被害の状況	・いじめ対策委員会（校長、副校長、養護教諭、生徒指導主任、各学年生徒指導部教諭、スクールカウンセラー、担任）の設置	・情報の共有と対応検討
・集団の構造	「対策委員会の取り組み」	・問題解決に向けての援助
・いじめの動機と背景	・教育相談体制の確立	＜加害生徒の指導＞
・被害生徒の状況	・学年、分掌の連携強化	・「いじめの加害者にならない」という確認と自己の言動が与えた影響についての確認のもと、変容を促す指導・心理的な責任を果たすよう指導
・加害生徒の状況	・いじめ問題の研修を実施	・法的な責任を果たすよう指導
・保護者と職員等の現状把握の状況		
・他の問題行動との関連		
・他の課題との関連		

生活指導主任会報告内容の場合（学校で重篤だと判断する場合、または市教委等と連携して対応する場合）

●関係諸機関との連携

連携機関⇒（指導室、教育相談所、子ども家庭支援センターすこやか、多摩児童相談所、調布警察署等）

指導・援助の基本姿勢確認、緊密な連携体制の確立、本人への支援方法を助言、協働事項の確認、関係機関の提示 等

＊重大事態への対処

●いじめが「重大な事態」と判断された場合の手順

↓

①教育委員会へ  
報告をし、教育委員会が設置する組織との連携・協力をする。

②被害の児童・生徒への  
緊急避難措置の検討、実施

③加害の児童・生徒への  
懲戒や出席停止の検討

④警察や児相等との連携

⑤緊急保護者会の開催

年 間 指 導 計 画													
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
各教科	普通救命講習（第3学年）						「人権週間」						
	・英語；あいさつ・体育；協力・友情・技術；情報モラル・音楽；助け合い・英語；異文化交流家庭；家庭と家族・家庭；幼児の発達・音楽；命・友情												
生活指導	ふれあい月間			セーフティ教室		ふれあい月間		「いのちと心の教育」月間		ふれあい月間			
	生活の様子についてのアンケート			いじめ防止調査（月1回）				生活の様子についてのアンケート					
学校行事	入学式		体育大会					合唱コンクール				卒業式	
	始業式					終業式		始業式		いのちと心の教育		終業式	始業式
特別活動	集団生活のルール		体育大会での協力			修学旅行での協力（3年）				移動教室での協力（1年）			
	調布市防災教育					職場体験（2年）				校外学習での協力（2年）			
道徳科	基本的な生活習慣・誠実・思いやり・友情・異性理解・寛容の心・弱さの克服・正義・集団生活の向上・愛校心・人類愛・集団生活のルール 諸問題の解決・思春期の不安や悩み・男女の理解・協力・人間関係の確立・将来設計・いのちと心の教育月間												
家庭・地域	社会を明るくする運動 三者面談						道徳地区公開講座		学校評価アンケート			地域懇談会	
	学年保護者会・調布市防災教育の日						学年保護者会						学年保護者会